

目標達成計画

作成日: 平成 24年 3月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事から活力、喜びや楽しみをもたらすためには食欲を高めたり、食事への関心を惹き起こす工夫が必要で、その場の雰囲気も大切である。料理に変化をつける工夫と共に、楽しい会話や笑い声が聞こえる雰囲気が望まれる。	食事時の雰囲気に笑顔が作れる努力を行なう	食事時の雰囲気作りに音楽をかけたり、職員、入居者が一緒に会話のある食事を召し上がれるようなスケジュールの調整を行なう。食事テーブルへ再度テーブルクロスの使用や配置の検討などの環境の整備を行なっていく。	12ヶ月
2	35	地震、洪水、火災が発生した場合を想定した災害マニュアルを作成し、地域住民の協力を得ながら、全員が無事に避難できる方策を確立したうえでそれらを全職員が完全に身につけるよう、前向きな訓練の実施が望まれる。	避難訓練を体で覚えるように毎月行う(実際に夜間に行なう機会を作る)	・自治会の定例会等で地域の方の協力のもと行なっていきたい旨の協力をお願いする。 ・スケジュール化し定期的な開催を行なう。	12ヶ月
3	6	各ユニットの出入口が常時施錠されている。「危ないから」鍵をかけるとの考え方は入居者が抱えている不安や混乱を取り除くケアのあり方と相反する。本人、家族と十分相談し、鍵をかけずに安全に過ごせる工夫をする事が望まれる。	身体拘束をしない対策づくり(玄関の解放(解錠))	・時間を決め、段階的に行なっていく。 ・出て行かれた際の対応をマニュアル化しておく。 (地域に迷う方がいる事を伝えて迷っている方がいたらアミーユ以外の方でも良いので施設に連絡してもらうように協力をお願いする・・・等)	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。